

次期「緑の基本計画」について

説明資料

<2025.09.01 第20回 京都市都市緑化審議会>

目次

スケジュール

計画の全体像

「みどりの魅力とは」パート

1章 理念

2章 みどりの魅力

3章 みどりの展望

「未来に向けて」パート

4章 一人ひとりにできること

5章 計画の概要

6章 方針・施策の方向性

7章 みどりの取組

スケジュール

前年度

審議会3回、部会4回を開催し、素案の全体像までの審議を完了

済

2025(R7)年度

2025.09.01 審議会
素案の審議

2025.06.02

部会⑤ 素案(前半)の審議等

済

2025.07.22

部会⑥ 素案の審議

済

2025年秋頃 審議会
素案の審議

2025年10月頃

部会⑦ 素案・パブコメ案の審議

市民意見(パブリックコメント)の募集

2026年春頃 審議会
答申

2026年2月頃

部会⑧(最終) 市民意見を反映した答申案の審議

計画策定

※2026年4月予定

3

計画の全体像

概要

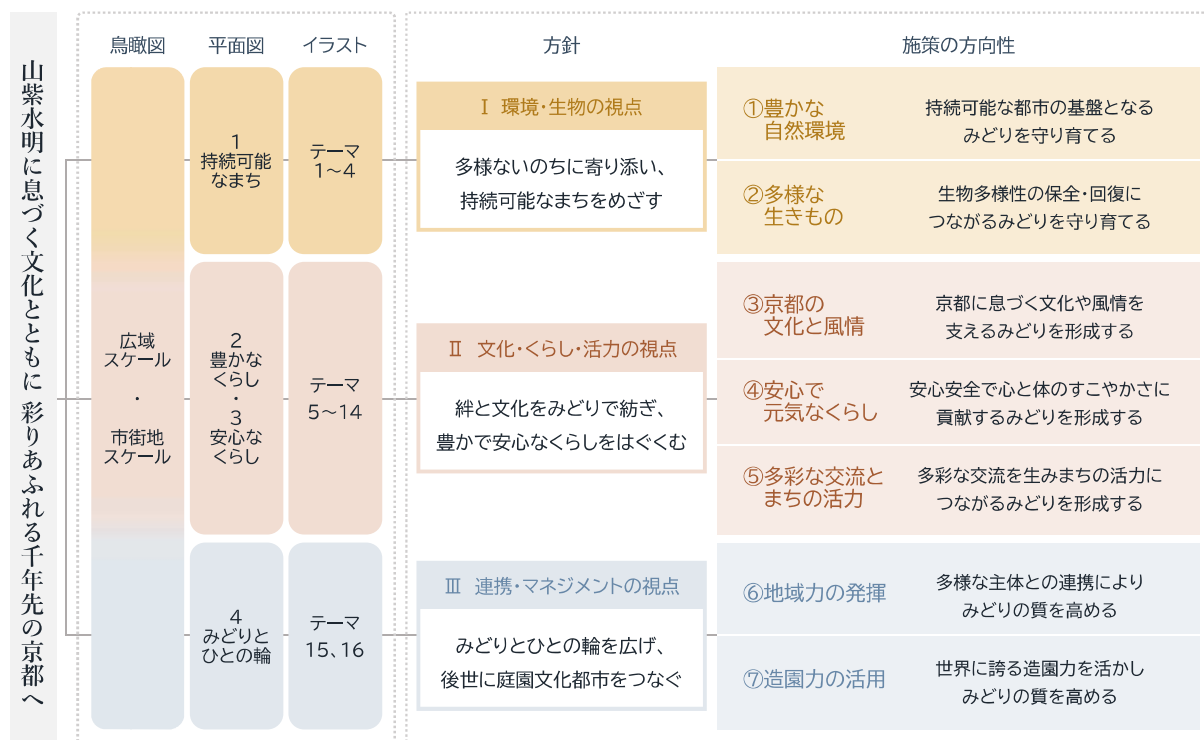
計画名	京都市みどりの基本計画
根拠法	都市緑地法
本市での上位計画等	「世界文化自由都市宣言」、「京都基本構想」(仮称)
対象地域	市域全域 … 主な対象区域は都市計画区域
対象とする「みどり」	あらゆる「みどり」 … 原生的/二次的、私的/公共の別や、面積の大小を問わない
計画期間	10年間(2026~2035年)
計画内容と実施主体	みどりの「保全」と「創出」の両輪を、 多様な主体との連携により進める

4

理念

みどりの展望

計画の体系



5

各部のタイトルと意図		章	章タイトル
みどりの魅力とは	写真や余白を大胆に用いて、読みやすさやアピール力に重点を置く	1	理念
		2	みどりの魅力
		3	みどりの展望
未来に向けて	法定事項や詳細な内容を示し、政策根拠としての役割を担う	4	一人ひとりにできること
		5	計画の概要
		6	方針・施策の方向性
		7	みどりの取組
		—	資料編

用語の変更

これまでの表現	変更後	変更理由
魅力発信パート(前半)	みどりの魅力とは	より分かりやすく、読みたくなるような表現に(第6回部会意見より)
計画パート(後半)	未来に向けて	
メッセージ(4章)	一人ひとりにできること	
各みどりの方向性(7章)	みどりの取組	6、7章のタイトルに「…の方向性」が連続することを解消

※パート分けの用語の変更に伴い、4章「一人ひとりにできること」を後半パート(未来に向けて)に移動。

6

「みどりの魅力とは」パート

パート分け		章	章タイトル
みどりの 魅力とは	写真や余白を効果的に用いて、 読みやすさやアピール力に 重点を置く	1	理念
		2	みどりの魅力
		3	みどりの展望

第5回部会でのご意見

- ✓ 前半パートの文体は、まだ「役所らしさ」を感じるので、もっと柔らかくして
後半パートとはタッチを意識的に変えてはどうか

執筆の方向性

- ・ 本パートでは行政的な文体を用いず、柔らかく、流れるような文体に
- ・ 固有名詞や専門用語には公式HP等へのリンクを作成し、誌面上の情報は端的に

7

1章 理念

本章の意図

本計画が目指すみどりの在り方を示す



誌面イメージ

理念

山紫水明に息づく文化とともに
彩りあふれる千年先の京都へ

Point

- ・ 理念は「京都ならでは」、「みどりならでは」のものに
- ・ 理念の説明文は、端的で読みやすいものに

8

2章 みどりの魅力

本章の意図

みどりの豊かさ・多様性を発信し、その魅力を発見・再確認してもらう



誌面イメージ

章の構成（みどりの分類別）

自然的なみどり	— 山、丘、竹林、草地
営みのみどり	— 林業地、農地
水辺のみどり	— 川、池、疏水
身近なみどり	— 公園、街路樹、雨庭、校庭
文化的なみどり	— 庭園、坪庭、社寺林、名木
特徴的なみどり	— 植物園、御苑、御所、離宮、陵墓
その他のみどり	— 建物の緑化、敷地の緑化

Point

- ・ みどりの魅力に関する文章は、分かりやすい平易な用語を用いて、簡潔に書く
- ・ 写真は可能な限り市職員が自ら撮影したものを使用し、みどりの魅力に特化した視点を示す*

*2章以外のすべての章の写真も同様

9

3章 みどりの展望

本章の意図

様々なスケール・視点でみどりのイメージを示し、みどりの豊かさや理想を伝える



誌面イメージ

章の構成

鳥瞰図	広域と市街地のスケールで、 京都のみどり全体の豊かさを示す
平面図	計画の方針等に基づく4つの平面図で、 市街地を中心にみどりの分布やつながりを示す
イラスト	みどりのはたらきに基づく16のテーマごとに、 理想とするみどりの在り方を示す

Point

- ・ 誌面を一見してみどりの展望を共有できるように、魅力的で具体的な図やイラストを示す
- ・ イラストは、京都にゆかりのある作家(画家)とのコラボにより作成する

10

「未来に向けて」パート

パート分け	章	章タイトル
未来に向けて	4	一人ひとりにできること
	5	計画の概要
	6	方針・施策の方向性
	7	みどりの取組
	—	資料編

第4回部会でのご意見

- ✓ ゆったり楽しめる冊子デザイン自体が計画の思想を表しており、文字の多い後半パートも、ゆとりのある魅力的な誌面とすることが大切

執筆の方向性

- ・ 写真、図、余白等を効果的に使用する
- ・ 関連計画等についてはリンクを作成し、誌面上の情報は端的なものとする

11

4章 一人ひとりにできること

本章の意図

みどりとの関わり方や、みどりのために一人ひとりができることを語りかける



誌面イメージ

できること(3段階)	
I.くらしにみどりを	身近なみどりへの気付き、愛着
II.みどりとふれあう	みどりを楽しむ・愛でる
III.みどりの未来のために	緑化、保全活動に参加する

Point

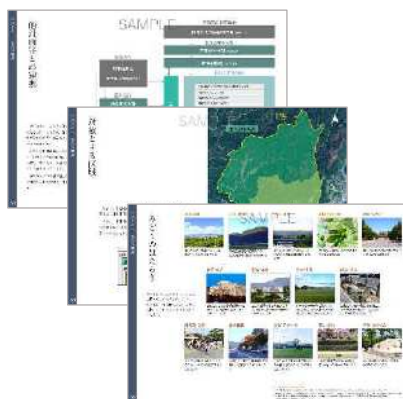
- ・ 行動しやすい順に3段階のメッセージを掲げ、読者の方々に語りかける内容に
- ・ メッセージは見開き1ページに収まる簡潔で分かりやすい内容に

12

5章 計画の概要

本章の意図

都市緑地法で定められた「緑の基本計画」としての基本的な事項を記載する



誌面イメージ

章の構成とページタイトル

概要	計画の目的、計画の期間、計画の背景 他計画等との連携
対象	対象とする区域、対象とするみどり
基礎情報	みどりのはたらき
配置方針	みどりの配置方針、緑化重点地区
目標	モニタリング・目標

Point

- ・急速な社会の変化に対し、柔軟かつ的確に対応できる計画を意図
- ・京都市独自にまとめた「みどりのはたらき」を打ち出し
- ・京都の特性に応じた配置方針や、質に重点を置いた総合的なモニタリングを設定

13

6章 方針・施策の方向性

本章の意図

計画の方針とそれに紐づく施策の方向性を示し、それぞれの趣旨を解説する



誌面イメージ

章の構成

体系図	理念、方針、施策の方向性の関係性を示す
方針Ⅰ	施策の方向性①、②の提示
方針Ⅱ	施策の方向性③～⑤の提示
方針Ⅲ	施策の方向性⑥、⑦の提示

Point

- ・多様な「みどりのはたらき」に網羅的にアプローチ
- ・京都で培われてきた人と人のつながりや、造園の技術にも重点を置いた内容

14

7章 みどりの取組

本章の意図

みどりごとの重要事項や取組の方向性を示す



誌面イメージ

章の構成(みどりの分類別)

自然的なみどり	— 山、丘、竹林、草地
営みのみどり	— 林業地、農地
水辺のみどり	— 川、池、疏水
身近なみどり	— 公園、街路樹、雨庭、校庭
文化的なみどり	— 庭園、坪庭、社寺林、名木
特徴的なみどり	— 植物園、御苑、御所、離宮、陵墓
その他のみどり	— 建物の緑化、敷地の緑化

Point

- ・京都市主体の取組と、市民や事業者の方々が主役の取組(おすすめアクション)を記載
- ・他の分野別計画が主管となるみどりは、取組のアウトラインを示すとともに、詳細を参照できるリンクを設定する
- ・公園、街路樹、雨庭については、本計画が主管となるため、重点的に記載

15

資料は以上となります。